

審 査 の 結 果 の 要 旨

氏 名 近藤 佳代子

本研究は、アトピー性皮膚炎患児の主たる養育者に特異的な健康関連 QoL (HRQoL: Health-Related Quality of Life) 評価尺度である QPCAD (Quality of life in Primary Caregivers of children with Atopic Dermatitis) の開発を目的とし、下記の結果を得た。

1. QPCAD は「疲労症状」、「アトピー性皮膚炎に関する心配」、「家族の協力」、「達成」の 4 領域 19 項目で構成される尺度となった。既存の尺度よりも質問項目数が少なく A4 1 枚に納まる尺度であるため、回答者への負担が少なく、かつ簡便に臨床で使用できる尺度であると考えられた。
2. 下位尺度は、ライフの肯定的側面と否定的側面の両方を兼ね備えている。これにより、多面的な HRQoL の測定が可能であること、および調査票による対象者への心理的侵襲を緩和できる利点がある。
3. Cronbach の α 係数は、0.66-0.87 と良好な内的整合性があった。また、再テスト信頼性も重み付き κ 係数が 0.43 以上、級内相関係数が 0.80 以上と良好な値を示した。よって、QPCAD の信頼性は高いと考えられた。
4. 因子分析の結果、因子負荷量は 0.5 以上、分散説明率は 50.9%、各因子負荷量とも 1 因子に帰属しており、因子妥当性は良好であった。また、Multitrait scaling Analysis の結果、1 項目の項目・ドメイン間相関が 0.38 と微弱であったものの、それ以外の項目は 0.4 以上と高い収束妥当性の結果を得た。QPCAD の合計得点と SF-8、STAI、CES-D との相関係数は、概ね予測される程度の値を示した。以上より、QPCAD の妥当性は高いと考えられた。
5. QPCAD の特記すべき特徴は、反応性が示されたことである。特に、「アトピー性皮膚炎に関する心配」の領域は高い反応性を示した。

以上、これまでアトピー性皮膚炎患児の主たる養育者に特異的な HRQoL 尺度は日本には無く海外においても反応性を示した尺度が無かったなか、本研究は精度の高い疾患特異的 HRQoL 尺度を開発した。本論文は、主に皮膚科・小児科領域に重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。